

受検番号	氏名	在学(出身)中学校
※高等学校で記入	(フリガナ)	立 中学校

専攻(左の欄に○)		課題	
ピアノ専攻	①		チェルニー () 番練習曲 より () 番
			クラマーニビューロー 60の練習曲 より () 番
			モシュコフスキー 15の練習曲 より () 番
			ショパン 練習曲 Op. () より () 番
	②		モーツァルト ピアノ・ソナタ () 調 K. () 第 () 楽章
			ベートーヴェン ピアノ・ソナタ () 調 Op. (-) 第 () 楽章
管弦打楽器専攻 楽器名 []	①	※クラシックギターのみ記入 M.カルカッシ 25の練習曲 Op.60 より () 番	
	②	※全楽器記入(小太鼓は③の内容について記入) 作曲者名	
	③	曲名	
コントラバス・マリンバ・ハーブは右の欄のいずれかに○をする		実技検査の際 試験会場の楽器を借りる ・ 楽器を持参する	
電子オルガン専攻	①		J.S.バッハ 「管弦楽組曲第2番」よりポロネーズ
			J.ブラームス ハンガリア舞曲 第5番
			J.シュトラウスII ワルツ「春の声」
			C.A.ドビュッシー 夢
	②	作曲者名	
		編曲者名	
	②	曲名	
		作曲者名	
声楽専攻	②	曲名	

(記入上の注意)

- この用紙は出願の際に提出する。記入にあたっては、別紙「実技検査受検上の注意」をよく読んで上で行うこと。提出された課題(楽曲)については、変更できない。
- 専攻について、入学を希望する専攻を1つ選び○を記入する。さらに管弦打楽器専攻は[]に楽器名を記入する。
- ピアノ専攻は課題①と②から1つずつ選び○を記入する。また選んだ楽曲欄の()に番号、調など必要な事項を記入する。
- 管弦打楽器専攻は全楽器とも課題②(小太鼓は③)について記入する。(課題曲が指定されている楽器は、選択した番号も必ず記入する。課題が「任意の1曲」となっている楽器は、選んだ楽曲について、できる限り詳細に記入する。)
- クラシックギターは、課題①の()に番号を記入する。
- コントラバス・マリンバ・ハーブは検査の際の楽器の使用について、○をする。
- 電子オルガン専攻は、課題①から1つ選び○を記入する。また課題②で選んだ楽曲について、できる限り詳細に記入する。
- 声楽専攻は、課題②で選んだ楽曲について、できる限り詳細に記入する。
- 演奏する楽曲の楽譜の左上に、下の「楽譜提出用紙」を添付して出願の際に提出する。(ただし、音階、リズム打ち、ロール、分散和音、コールユーブンゲンは除く。提出された楽譜は返却しない)

きりとり

楽譜提出用紙①(ピアノ・クラシックギター・電子オルガン専攻のみ使用)

受検番号	氏名	専攻 [楽器]
※高等学校で記入		専攻 []

きりとり

楽譜提出用紙②③

受検番号	氏名	専攻 [楽器]
※高等学校で記入		専攻 []